

年賀寄付金配分事業とは



1枚5円からの
社会貢献

お客様の善意により
寄せられた寄付金は
総額1.3億円に!
(2025年度)



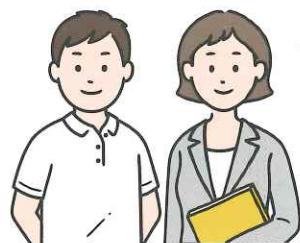
寄付金は、社会課題に
取り組む団体へ



地域のみなさま



日本郵便 年賀寄付金

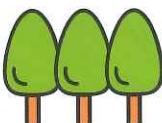


非営利の活動団体

全国各地のみなさまに
さまざまな形で笑顔を届けています



子育て支援や…



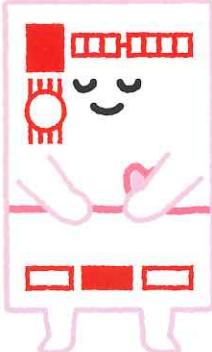
緑地化活動や…



高齢者サポートなど…

全国各地で
社会課題を解決

「年賀寄付金配分事業」とは、全国の皆さんに寄付金付「年賀はがき・年賀切手」をご購入いただくことで寄せられる寄付金を日本郵便がお預かりし、毎年配分を行う事業です。寄付金付年賀葉書による年賀寄付金助成は1949年に始まり、この歴史を重ねる中で、日本固有の寄付文化に発展してきました。これまでに多くの寄付をお寄せいただいた皆さまの、心優しい温かいお力添えに心から感謝申し上げます。



2026年度も日本郵便年賀寄付金の配分を希望する団体を公募いたします。

詳しい申請方法、お問い合わせなどにつきましては、日本郵便年賀寄付金Webサイト内、『年賀寄付金による社会貢献事業助成』のページをご覧ください。

<https://www.post.japanpost.jp/kifu/>

日本郵便 年賀寄付金

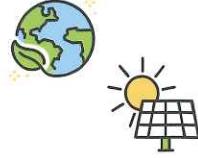
詳しくは
こちら!



助成対象事業と事業内容

お預かりしました寄付金は、総務大臣の認可を経て、法律で定められた10の事業を行う全国各地の多くの団体に配分されます。

さまざまな事業を
対象としています

助成事業	事業内容例
 社会福祉増進	<ul style="list-style-type: none"> ●生活に困窮する女性を支援する物資配給事業 ●障がい者アートの商品展開のための布用プリント設備の導入 ●健康寿命とITリテラシー向上のためのシニア向けeスポーツ事業 ●障がい者福祉施設の農作業用トラクターの導入 ●過疎地域における空き家の改修と地域活性化 ●ギャンブル依存症からの回復を支援する事業 ●乳幼児をもつ親を対象とした子育てサポート事業 
 青少年健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ●ヤングケアラーの支援事業 ●小学生を対象とした宿泊型体験プログラムの実施 ●発達障害を抱える子どもたちの居場所づくり ●子ども食堂を運営するための施設改修および調理機器の導入 ●少年院での文化芸能活動を通した自立支援活動 
 地球環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ●森林資源を活用したエコ食器の普及活動 ●環境に配慮した太陽光発電設備の設置事業 ●マイクロプラスチックによる汚染状況の調査 
 スポーツ振興	<ul style="list-style-type: none"> ●老若男女を対象としたウェルネススポーツの推進事業 ●健康増進のためのスポーツクラブガイドの制作・配布 ●障がい者スポーツの推進事業 
 開発途上地域からの留学生・研究生の援護	<ul style="list-style-type: none"> ●留学生への生活応援物資の拠点整備 ●技能実習生の居場所づくり ●日本語検定受験者の支援 

次のページへ続く

助成事業	事業内容例
 風水害・震災等、非常災害時の救助・災害の予防	<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災被災者に向けたメディア情報発信 ● 南海トラフ地震に備えた災害支援拠点の施設改修 ● ジェンダー視点の防災教育の構築 ● 被災した子どもたちを癒すレクリエーション等の実施 ● 災害時の動物避難所マップの制作、ペット防災の推進 ● 豪雨被害地域におけるキッチンカーでの食事提供 
 交通事故、水難の救助・防止	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の安全運転教室 ● 交通事故被害者・遺族の支援事業 ● 中高生向け交通安全指導テキストの制作 ● 運転フレイルの評価や自動車免許自主返納を促す相談会の実施 ● 海の安全利用促進のための指導員育成事業 
 がん、結核、小児まひなどの研究・治療・予防	<ul style="list-style-type: none"> ● 希少難病の医師向け診療機関検索サイトの開設 ● 乳がん患者を対象とした心と身体をケアするリハビリイベントの実施 
 原子爆弾の被爆者への治療・援助	<ul style="list-style-type: none"> ● 被爆二世に対する調査検診事業 ● 小学校での原子爆弾についての特別授業 
 文化財の保護	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界文化遺産の地域資源の活用、市民の記憶継承のための活動 ● 日本在来種の生物との共生をめざす事業 ● 小中高生とともに古代遺産の調査を実施 ● 伝統工芸品の製作体験講座を中心とした継承事業 

上記の事業は一例です。ほかにも、さまざまな事業へ助成を行っています。